

アリ目のお姉さんは好きですか

殿下と一緒 殿文

生きて
よかったですー！



いつも
すまないな

いえ、こんな田舎でも
姉上の隠れ蓑になるなら

ふつ、変わらんな
自信を持て、小さくとも
お前が治める領土だ

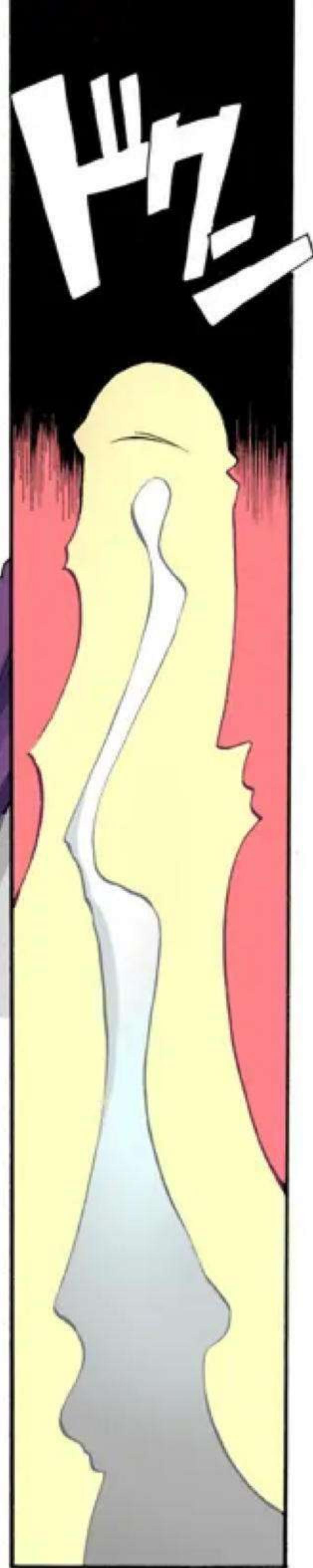
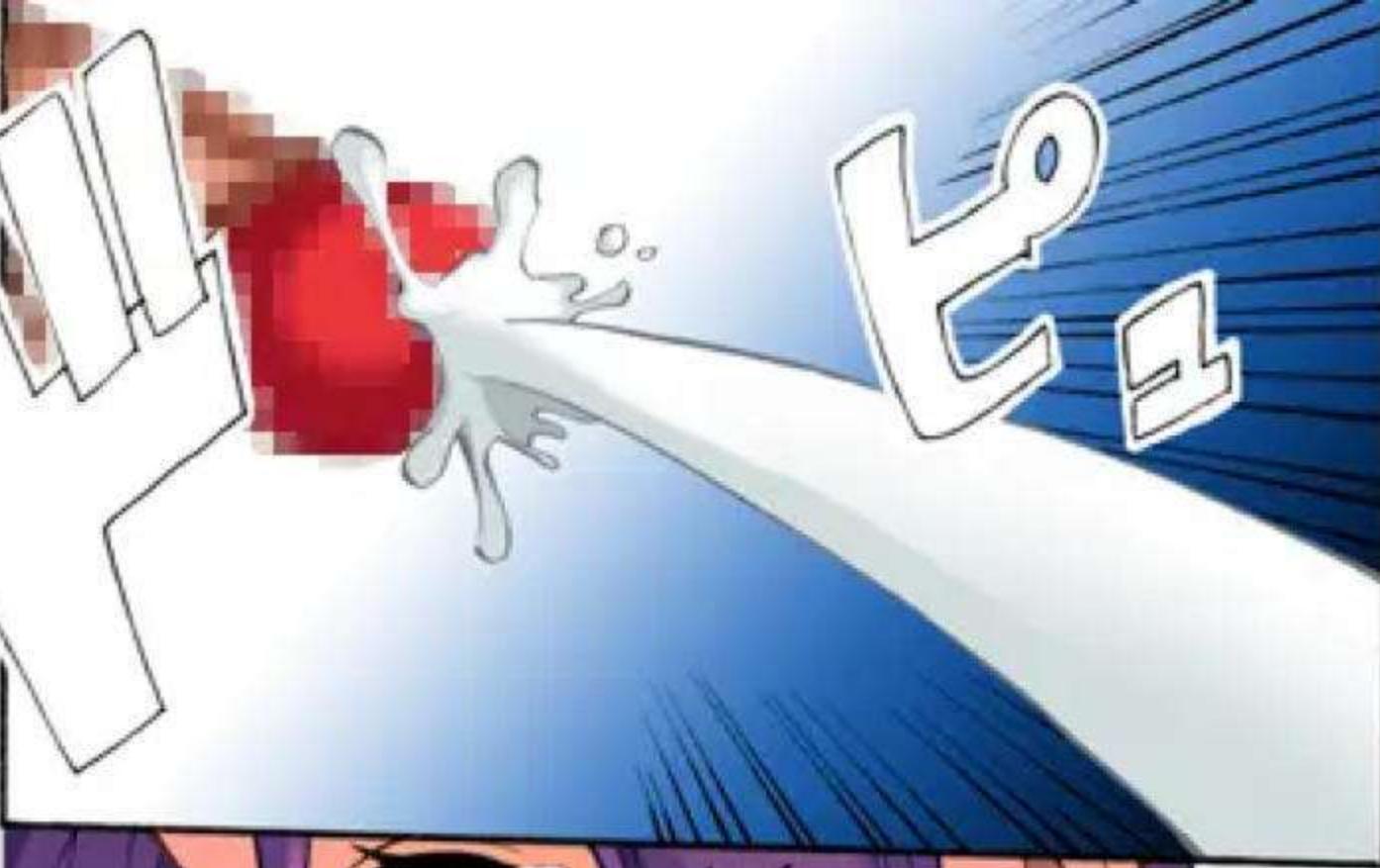
いい

さて

あつちの方の
成長はどうかな？









姉上が来られると聞いてから
ずっと我慢してたので···

この鼻を突くにおいは
いつまで経つても慣れんな
それに今日は量も凄い

んっ！

私も

気持ちよく
してもらおうか





あぐつ！

ああつ！

っはあ

んづくう！

あぐ
ああつ！

きちゅ
はあ！
くうつ！

うつく！

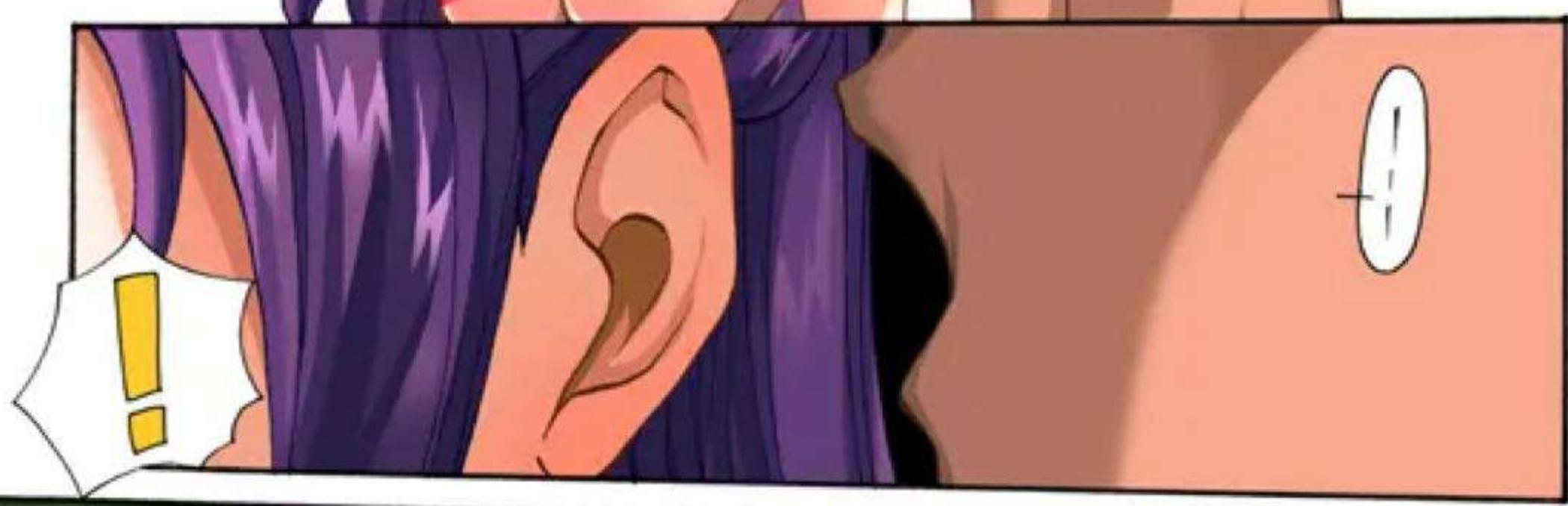
ああ！

くうつ！

ああああ
ああつ！







まさか
お尻の穴に入れたい
などと言うよう
なるとは
・・・
に

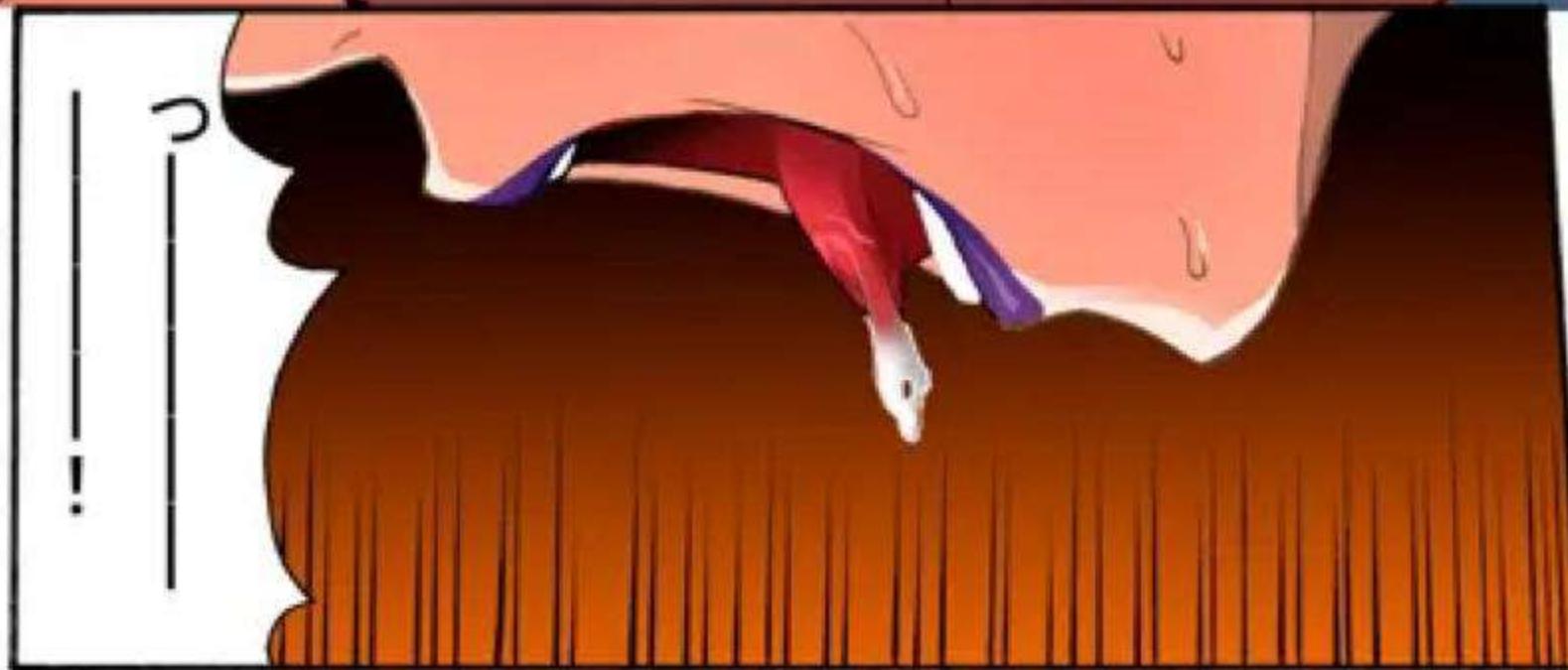
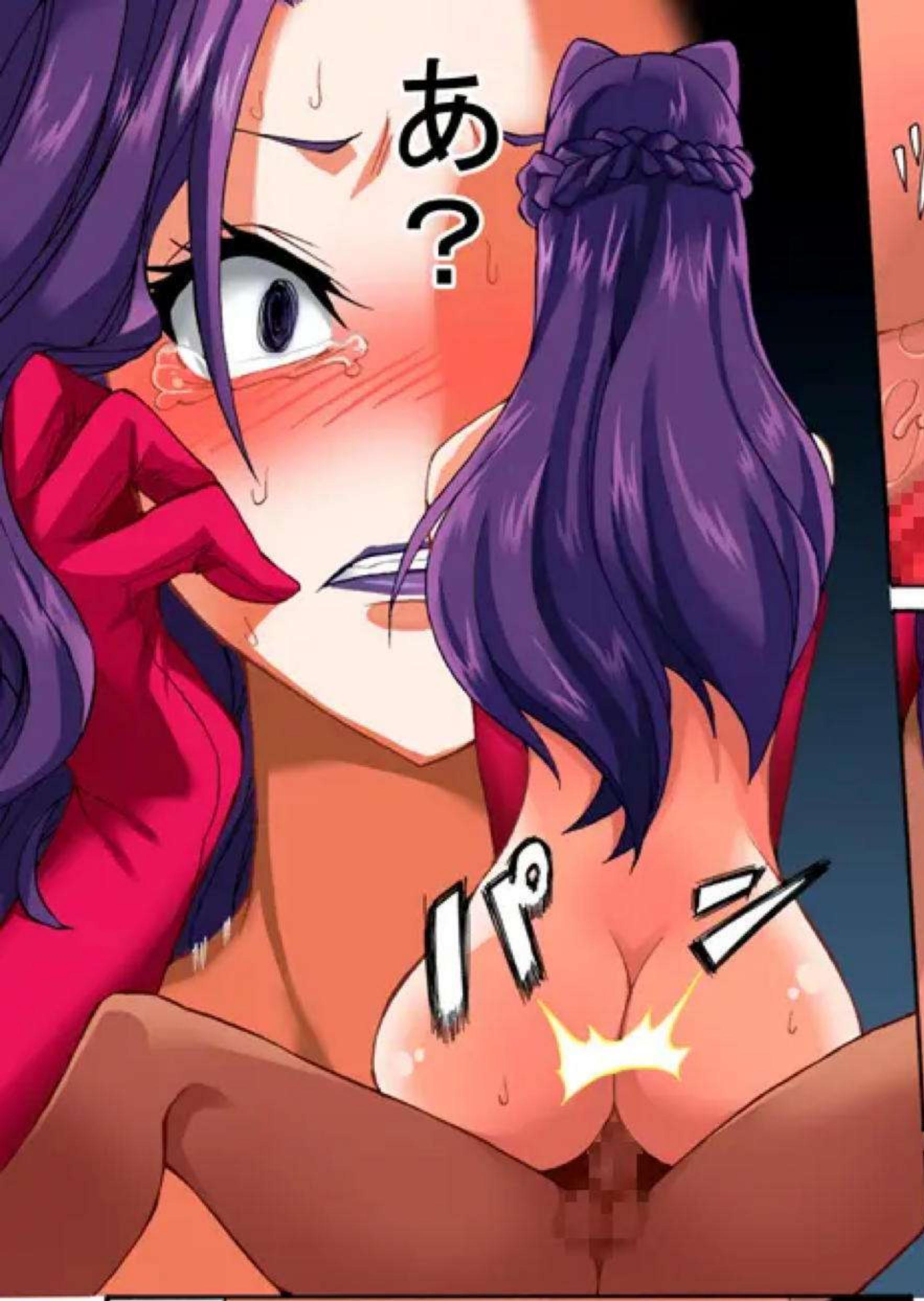
姉として経験が
ないなどと断れん

ドキ
ドキ

ドキ
ドキ

うわ
うわ

うす



試しに指一本だけ

これは



ぐつ、わわわ、わー・

あ、姉上つ
出します！

あつ！

あきつ！

おあ！

うぐっ！

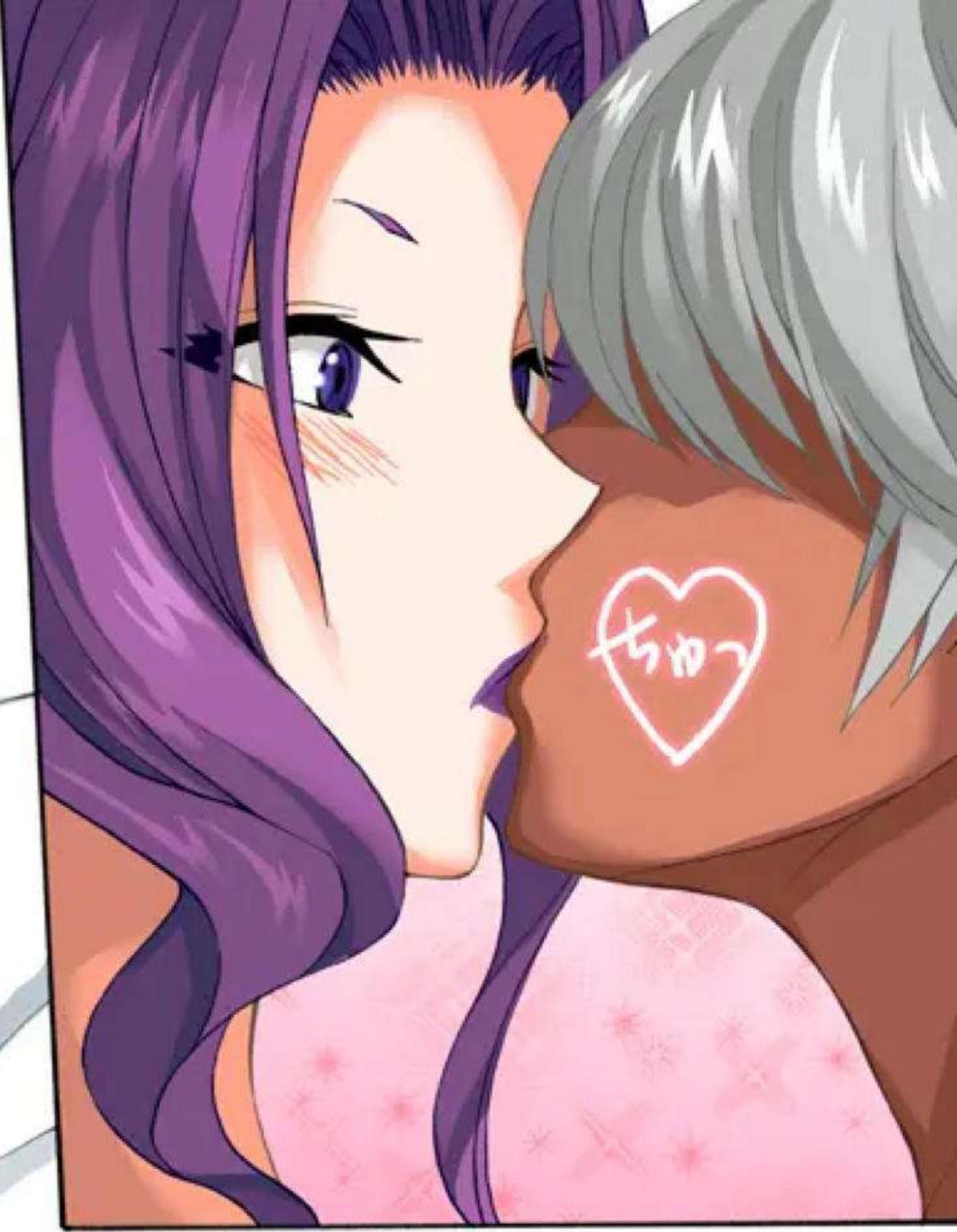




気にするな



あ、姉上
口が切れて……



私のヴァギナに

姉上え！

ギン
ギン
ギン

お前の逞しく

成長したペニスを！





あああああ
あああああ
あああああ
あああああ！

そのまま
中にっ！

シロ
あん！

あ、姉上っ！

出せ！
そのまま

で、出ます！

あん！
シロ
あん！

あ、姉上っ！

「
そういうえは姉上
ずっと気になつて
いたのですが

「
姉上つて
パイパンですよね



語らいのときは終わり

私は再び戦場へと舞い戻る



妹の汚名をそそぐために
いざギアス響団の元へ！

END